



千葉県看護協会

「令和7年度 看護職定着確保動向調査（再就業者）」結果概要

就職先決定の決め手は「勤務時間」68.0%、「立地（通勤に便利な場所等）」61.3%、「看護領域・看護内容・業務内容」52.0%

調査の概要

調査目的	再就業した看護職の働き続けられる理由や就職先決定の決め手等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県在住の令和6年度千葉県ナースセンター登録の再就業者（臨時雇用にて就業した者を除く）
調査時期	令和7年5月30日～令和7年6月20日
調査方法	調査依頼をメールと郵便はがきにて案内し千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：164名 回答数：75名 回答率：45.7%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 居住地は、千葉地区 29.3%、船橋地区 18.7%、君津地区が 13.3%の順であった。
- 就職時の年齢層は、「40代」33.3%、「30代」28.0%、「50代」25.3%の順であった。
- 資格は、看護師 89.3%、保健師 5.3%、准看護師 4.0%の順であった。

2. 就業時の状況

- 就職時の就業状況は、未就業から再就業した者が 40名（53.3%）、転職者が 35名（46.7%）で、再就業者の割合が前年度（53.8%）より 0.5ポイント減少した。
- 再就業者のブランク期間は、「6か月未満」25.0%が最も多く、「5年以上10年未満」22.5%、「6か月以上1年未満」20.0%の順であった。
- 再就業した施設で継続して勤務している人は 66.7%で、転職した人は 24.0%、退職した人は 5.3%であった。
- 勤務先の施設種別は、「病院」16.0%、「診療所・クリニック」12.0%、「介護福祉系施設」10.7%の順で、病院の割合が前年度（26.9%）と比較して 10.9ポイント減少した。
- 雇用形態は、「正職員」29.3%が最も多く、前年度（42.3%）より 13ポイント減少した。次いで「非常勤職員」20.0%で、前年度（48.1%）より 28.1ポイント減少した。
- 働き続けられる理由は、「勤務時間が自分の生活スタイルに合っている」54.9%、「同僚との関係がよい」47.9%、「通勤に便利である」46.5%の順であった。

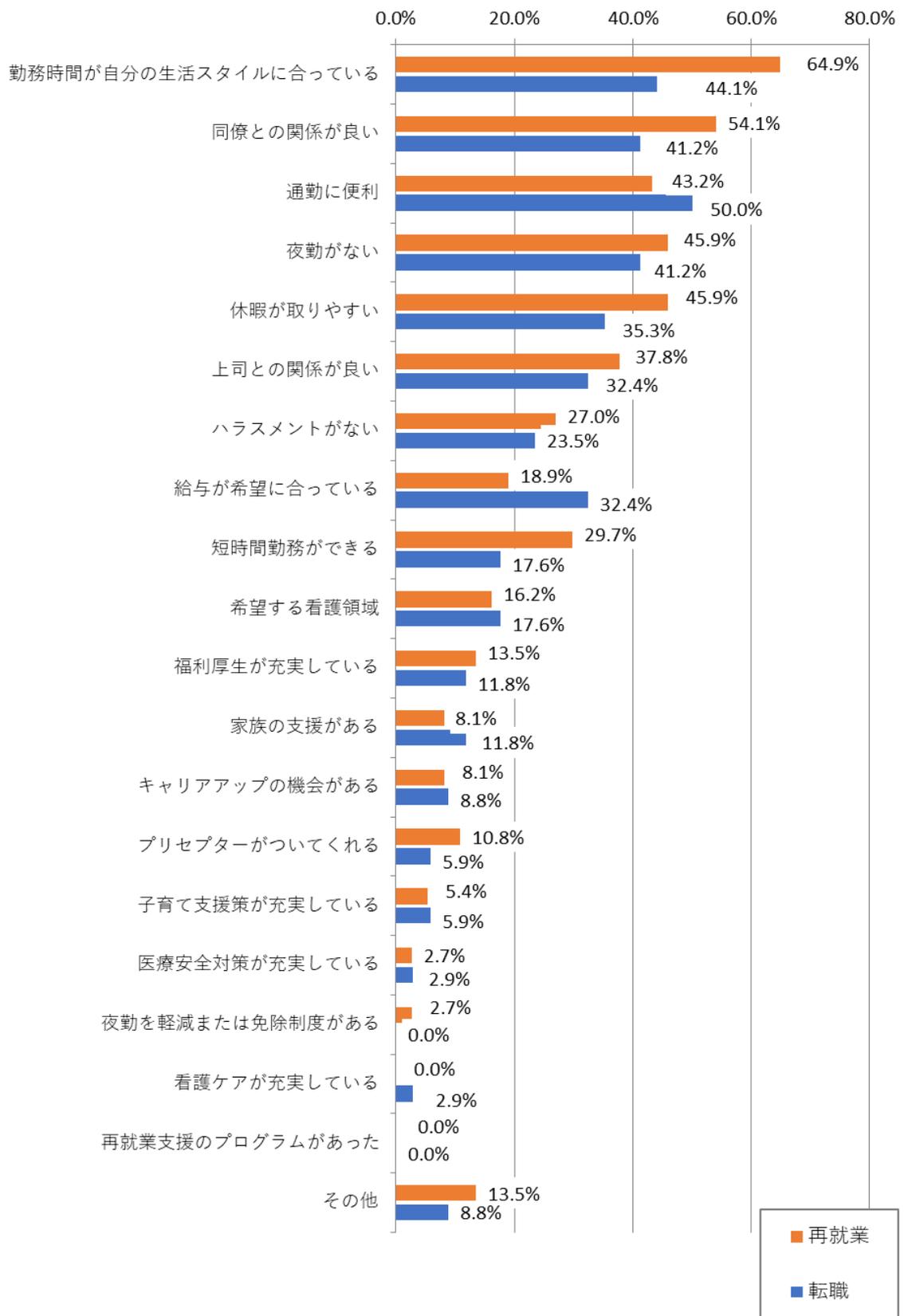


図 1.働き続けられている理由（再就業、転職別）

3. 再就業後の指導体制について

○再就業後の、指導系の有無では「直接の指導係がいて相談できた」45.3%で、「直接の指導係はいなかった」は54.7%だった。

○「直接の指導係はいなかった」と回答した41名のうち、相談できる同僚や先輩はいるか、またはいたかでは、「相談者はいた」82.9%、「相談者はいなかった」17.1%だった。

4. 再就業のきっかけ

○再就業のきっかけは、「今までに得た職業経験や技術・資格を活かす」48.0%が最も多く、「社会に出たい」37.3%、「経済的な理由から」32.0%の順であった。

5. 就職活動で利用した職業紹介所等について

○就職活動で活用した職業紹介所等は、「千葉県ナースセンター」64.0%が最も多く、「民間の就職あっせん業者」48.0%、公共職業安定所（ハローワーク）37.3%の順であった。

○就職先の決定では、同率で「民間の就職あっせん業者」「インターネット、LINE等で自分で調べた」29.3%と最も多く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）」12.0%であった。

6. 就職先決定の決め手

○就業先決定の決め手は、「勤務時間」68.0%が最も多く、「立地（通勤に便利な場所等）」61.3%、「看護領域・看護内容・業務内容」52.0%の順に多かった。

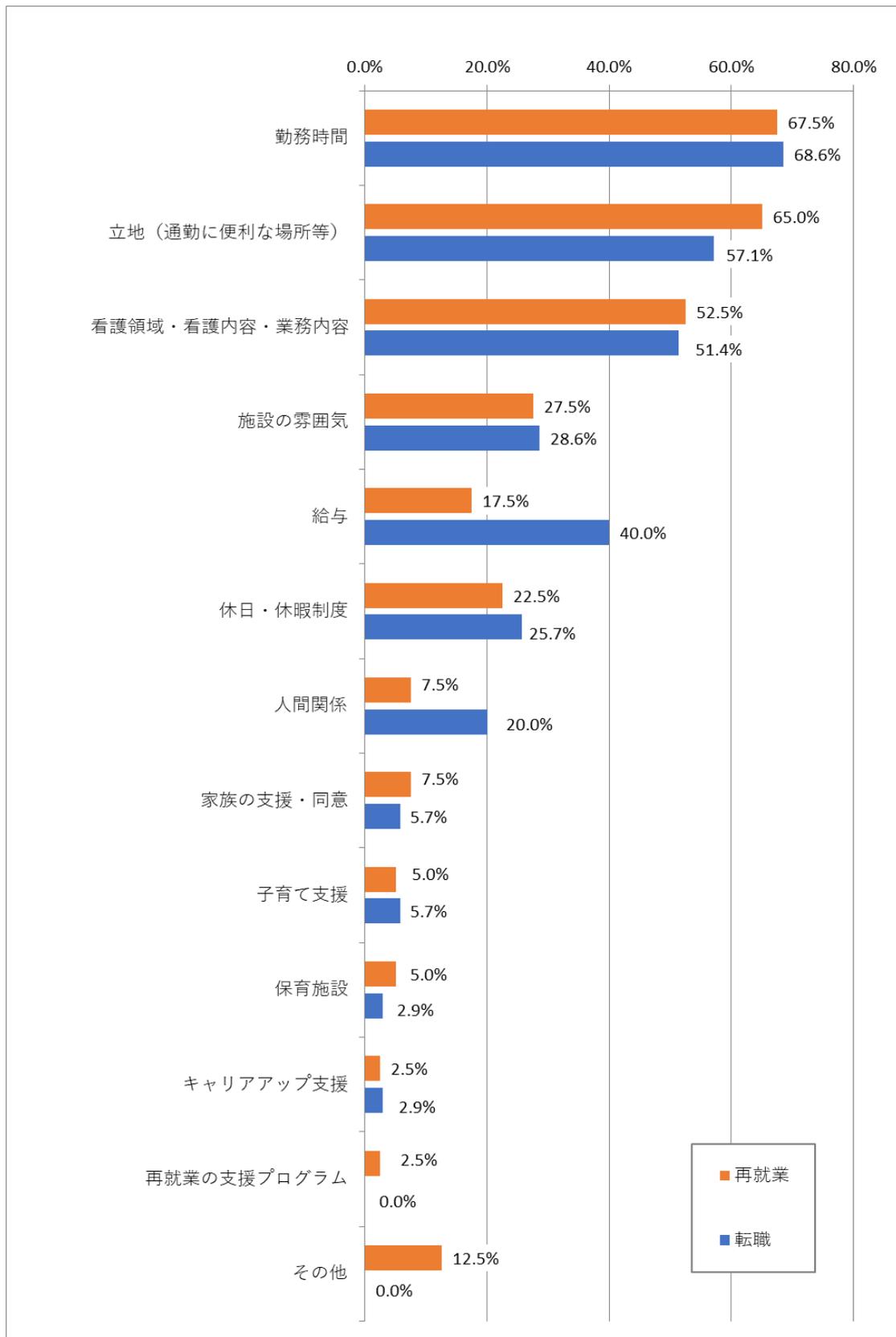


図 2. 就職先決定の決め手（再就業、転職別）

7. 再就業講習会（復職支援セミナー等）について

○再就業講習会（復職支援セミナー等）の受講状況は、「受講した」50.7%、「受講しなかった」49.3%で、「受講した」人の内訳は、再就業が68.4%、転職が31.6%であった。受講した場所は、複数回答で「千葉県ナースセンター・看護協会」が89.5%、「その他」10.5%で、千葉県リハビリテーションセンターやハローワーク等であった。就業後セミナーについて「非常に役立っている」31.6%、「まあまあ役立っている」39.5%であった。○再就業後の看護業務で困ったことがあるかでは、「困ったことがある」44.0%、「困ったことがない」56.0%だった。

8. ヘルシーワークプレイス相談窓口について

○ヘルシーワークプレイス相談窓口を知っているかでは、「知っていた」16.0%、「知らなかった」84.0%だった。